

鹿児島市胃がん検診（胃内視鏡検査）のご案内

鹿児島市の胃がん検診は、胃部エックス線検査に加え、**胃内視鏡検査**を開始します。対象年齢の方は、「いきいき受診券」に含まれる胃部エックス線検査または本案内による胃内視鏡検査のいずれかの検査を選んで受診いただけます。胃内視鏡検査の受診を希望される方は、本案内をご確認のうえ、検診機関に直接予約を行い、受診してください。ただし、令和5年度に、既に「いきいき受診券」等による胃がん検診を受診した方は受診できません。

対象者

令和5年度に50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる方

令和5年度に胃がん検診を未受診の方が対象となります。また、お体の状態によっては、受診いただけない方もいます。詳しくは、3ページをご覧ください。

検診内容

問診及び胃内視鏡検査（胃カメラ）

胃に内視鏡を挿入して撮影します。本検査では鎮痛薬や鎮静薬は使用しません。また、検査の過程で病変が疑われる部分がある場合は、組織の一部を採取して調べる生検を行う場合があります。

検診料

4,000円

- ・検診料が無料になる場合があります。下記「検診料が無料になる方」をご覧ください。
- ・検査の過程で、生検等が必要となった場合は、別途、保険診療に該当する支払が発生します。

使用期間

令和5年10月1日から令和6年3月31日まで

検診機関の予約状況によっては受診できない場合があります。早目に受診しましょう。

使用方法

2ページをご覧ください、ご自身の受診状況をご確認ください。

今年度、胃がん検診を未受診の方は、希望の検査方法をご予約のうえ、受診してください。

必要な物

- ・胃がん検診（胃内視鏡検査）受診券（本案内に同封）
- ・いきいき受診券（15ページに「令和5年度胃がん検診受診券」が残っていることを確認します。）
- ・健康保険証（マイナンバーカードの健康保険証利用については、予約時に検診機関へ直接おたずねください。）
- ・検診料（または検診料無料の確認資料。なお、生検等実施時は、別途、保険診療に該当する支払が発生します。）

《今年度、胃がん検診を受診をされた方へ》

今年度、既に「いきいき受診券」を利用して胃がん検診（胃部エックス線検査）を受診された方や、職域やご自身で申し込まれた胃がん検診を受診された方は、本案内による胃内視鏡検査の受診はできません。

令和6年度に改めて胃内視鏡検査の受診券をお送りする予定です。（令和6年8月頃送付予定）

検診料が無料になる方（詳しくは「いきいき受診券」5ページをご確認ください。）

下記に該当する方は、検診料が無料になります。受診時に、下記の1～4のいずれかを原本で提示してください。

1. 今年度70歳以上の方・・・健康保険証、敬老パス等の年齢確認ができるもの
2. 後期高齢者医療制度にご加入の方・・・後期高齢者医療被保険者証
3. 生活保護世帯の方・・・生活保護受給証
4. 市民税非課税世帯の方・・・下記のいずれかひとつ
 - ・介護保険料納入通知書等（本人名義）の所得段階区分に「第1段階」から「第3段階」と記載のあるもの
 - ・本市が発行する非課税証明書（市保健事業用：本人名義）
 - ▶本庁資産税課または各支所税務課の窓口で無料で発行します。
 - ※他市区町村からの転入の方については、保健予防課へお問い合わせください。

<注意>

上記取扱いは、検診料4,000円に係る措置となります。

検査の過程で、生検等が必要となった場合は、別途、保険診療に該当する支払が発生します。

がん検診に関するお問い合わせ

鹿児島市保健予防課 電話099-803-6927 詳しくはコチラ▶

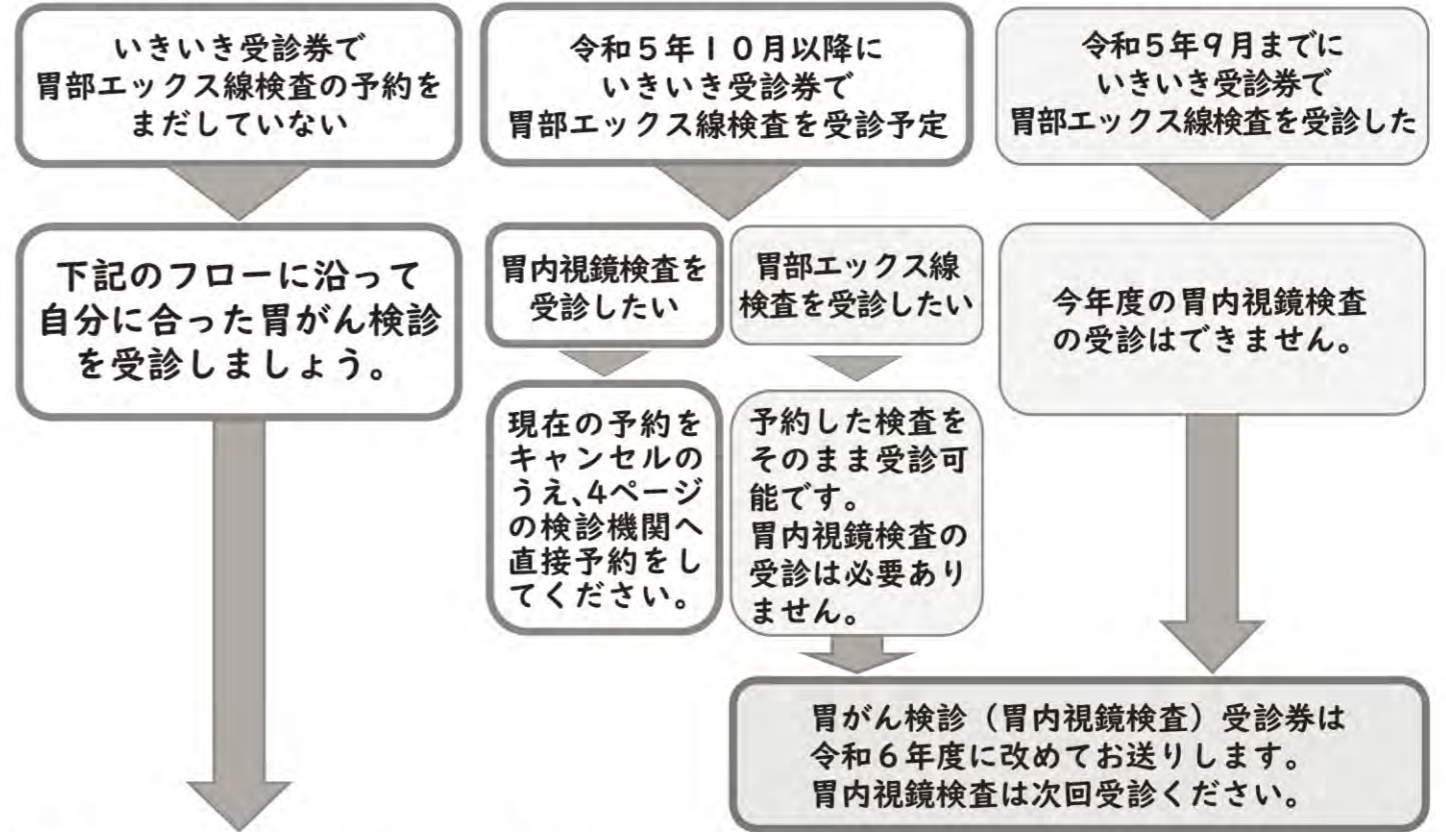
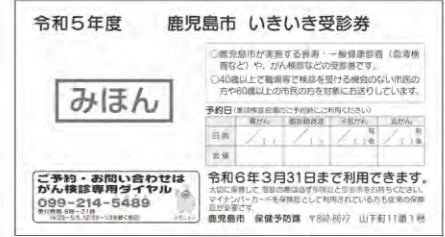


鹿児島市 いきいき受診券 検索

1 今年度の胃がん検診の受診状況を確認する

今年度の「いきいき受診券」を使用した胃がん検診の受診状況で、ご自身に当てはまるものをご確認ください。

なお、既に、職域やご自身で申し込まれた胃がん検診を受診した場合は、本案内や「いきいき受診券」による胃がん検診の受診は必要ありません。



2 希望する検査方法で受診をする

希望する胃がん検診（胃内視鏡検査または胃部エックス線検査）を選んで、受診に向けて予約をしましょう。

1.検査方法を決める	2.予約をする	3.受診をする	4.検診結果を確認する
胃内視鏡検査を受診する場合 胃カメラを使用する検査です。詳しくは、3ページの確認事項をご覧ください。	4ページの検診実施機関名簿から希望の検診機関を選択し、直接予約をしましょう。 検診機関の予約状況によっては、受診できない場合があります。早目に予約をしましょう。	検査前日・当日の注意事項を確認し、必要な物を持参して受診しましょう。	検診結果で「要精密検査」や「要治療」と判定された方、又は「異常なし」であっても自覚症状がある場合は、必ず医療機関で詳しい検査や必要な治療を受けてください。
胃部エックス線検査を受診する場合 バリウムを使用する検査です。詳しくは、4月に送付している「いきいき受診券」の14ページをご覧ください。	いきいき受診券に同封の集団検診日程表(白)を確認して、希望の日程を予約しましょう。 がん検診専用ダイヤル ☎099-214-5489 または 各集団検診施設へ	検査前日・当日の注意事項を確認し、必要な物を持参して受診しましょう。	検診結果で「要精密検査」と判定された方、又は「異常なし」であっても自覚症状がある場合は、必ず医療機関で詳しい検査や必要な治療を受けてください。

鹿児島市胃がん検診（胃内視鏡検査）確認事項

受診の前に必ずご確認ください。

次の方は受診いただけません。

- ①胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセント（説明と同意）や同意書の取得ができない方
- ②妊娠中またはその可能性のある方
- ③疾患の種類にかかわらず、入院中の方
- ④消化性潰瘍などの胃疾患で受療中の方（ヘリコバクター・ピロリ除菌中の方を含む）
- ⑤胃全摘術後の方
- ⑥今年度既に「いきいき受診券」を利用して、胃がん検診（胃部エックス線検査）を受診された方
- ⑦受診日において、鹿児島市外へ転出されている方
- ⑧その他、医師が受診できないと判断した方

既に、何らかの自覚症状がある場合は、本検診を待つことなく、早目に医療機関を受診してください。また、要精密検査と判定された方については、保健予防課、各保健センターからご連絡する場合があります。

○口または鼻から内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を内腔から観察する検査です。

○検査に際し、同意書への署名が必要です。

○前処置において、薬剤を使用します。
胃の中の泡を取り除く消泡薬や胃の動きを抑える鎮痙薬、その他の咽頭麻酔や鼻腔麻酔等の薬剤を使用することがあります。

○鎮痛薬や鎮静薬は、安全性を考慮して使用しません。オプション等による鎮痛薬や鎮静薬の使用もできません。

○生検を実施する場合があります。
検査の過程で、腫瘍性病変が疑われる場合には、組織の一部を採取し、悪性でないかを調べる生検を実施する場合があります。生検は保険診療扱いとなり、検診料とは別に請求があります。

○検診結果は、約40日で検診機関よりお知らせします。
本検査では、病変を正しく拾い上げているかを確認するために、検診機関で撮影した画像を、読影委員会においてダブルチェックを行います。最終結果は、ダブルチェックの後にお知らせします。

その他、受診に関わる注意事項は、予約時に、検診機関にお尋ねください。

受診時の注意事項

1. 検査前

- ①前日の食事
 - ・前日の午後9時（検査開始予定時刻の12時間前）以降の食事はとらないでください。
 - ・飲酒は控えてください。
 - ・水・お茶は就寝まで飲んでも差し支えありません。
- ②当日の食事
 - ・飲食（ごはん、コーヒー、牛乳など）は控えてください。
 - ・水は、検査開始1時間前までに、コップ1杯程度（200ml以内）は飲んでも差し支えありません。
- ③当日の服薬
 - ・当日朝に内服が必要な薬（降圧薬など）は、午前6時（検査開始予定時刻の3時間前）までにお飲みください。
 - ・糖尿病の方は、低血糖になる危険があるため、受診前に薬の服用やインスリン注射をしないでください。
 - ・薬の服用などについて不安のある方は、事前に主治医に相談してください。また、お薬手帳がある方は、受診時にお持ちください。
- ④当日の喫煙
 - ・検査に支障が出る可能性があります。喫煙は控えてください。

2. 検査後

- ・検査後1時間程度は飲食を控えてください。
- ・生検を実施した場合は、胃粘膜に傷が生じるため、検査後当日の食事は軟らかい消化の良いものを食べてください。
- ・過度な運動、長湯、旅行などは避けてください。
- ・検査終了後に何らかの異変がある場合には、受診した検診機関に相談してください。

検診実施機関名簿

最新の情報はこちら



希望の検診機関を選択し、直接予約を行ってください。

検診機関の予約状況によっては、希望する日に受診できない場合があります。

早目に計画を立てて予約をしましょう。

令和5年8月31日時点

	検診機関名	所在地	電話番号
あ行	いまきいれ総合病院	高麗町43-25	203-9100
	いわした内科おなか診療所	上荒田町29-23 3階	201-6022
	いわや内科・内視鏡クリニック	荒田1丁目16-3 3階	814-7255
か行	かごしまIBD消化器内科クリニック	千日町1-1 センテラス天文館4階	813-7548
	鹿児島県民総合保健センター	下伊敷3丁目1-7	220-2622
	鹿児島厚生連病院 健康管理センター	与次郎1丁目13-1	256-1133
	かごしま高岡病院	西千石町14-12	226-1370
	鹿児島中央駅西口消化器内科・胃大腸内視鏡クリニック	武1丁目2-10 JR鹿児島中央ビル3階	272-9733
	かわもと記念クリニック	吉野町5397-3	243-5500
さ行	貴島消化器内科クリニック	草牟田2丁目10-2-3階	226-7272
	鮫島病院	加治屋町9-8	224-2277
	しげのぶ内科クリニック	下伊敷1丁目43-2 種子田ビル1階	218-8008
た行	新成病院	上荒田町16-30	254-3332
	高見馬場山ロクリニック	西千石町16-16	219-3855
	天陽会中央クリニック	泉町16-1	0120-255-545
な行	ちゅうざん整形外科・内科・胃腸内科	中山町5237-1	266-6366
	なおこ胃腸内科クリニック	薬師2丁目43-32 井上ビル2階	252-5001
	なかのクリニック	上荒田町26-29	206-0011
は行	南風病院	長田町14-3	223-1521
	林内科胃腸科病院	武2丁目33-8	257-6969
	東内科医院	唐湊4丁目15-2	251-7198
ま行	前島医院	郡山町1308	298-2121
	三船病院	吉野町10004-1	247-3016
	宮田内科消化器科	吉野1丁目9-12	244-6446
	明輝会クリニック	吉野3丁目2-5	244-1500
や行	内科・山ロアーバンクリニック	鴨池2丁目26-30	258-8853

◆ がん検診の目的 ◆

がんを早期発見し、適切な治療によりがんによる死亡を減らすこと。メリットとデメリットを正しく理解して受診しましょう。

～日本対がん協会ホームページより参考・引用～

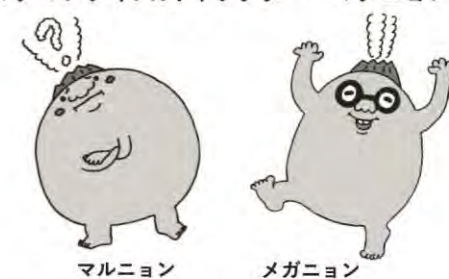
メリット

- 「救命効果」
最大のメリットは早期発見、早期治療による救命です。
- 「早期のがん発見」
早期にがんを発見できれば、治せる可能性が高く、治療も軽くすむことが多いです。
進行がんが見つかった場合の治療は、身体への負担が大きく、時間がかかるほか、治せない場合もあります。
- 「がん以外の病気の発見・治療」
ポリープや潰瘍（かいよう）などのがんになる前の病変が見つかることもあり、がんになることを防ぐことができます。

デメリット

- 「偽陰性・偽陽性」
「異常なし」という判定は、「あなたの身体にはがんはありません」ということではありません。どんなに優れた検査でも100%すべてのがんを発見することはできず、がんの場所や種類によっては見つけづらかったり、見落とししたりすることがあるのも現状です。また、がんではないのに、「がんの疑いがある」と判定されることがあり、科学的に必要な検査や治療を招く可能性もあります。
- 「検査による身体的負担」
胃部エックス線検査で使うバリウムは便秘になることがあり、放射線には被曝（ひばく）の問題もあります。また、胃内視鏡検査で使用する内視鏡では、出血や穿孔（せんこう）といって胃や腸に穴をあけてしまうこともあります。

マグマシティPRキャラクター マグニオン



マルニオン

メガニオン